

令和4年・大阪支部「秋季歴史探訪の会」開催報告

大津巡り(石山寺・西教寺・日吉大社)

大阪支部「歴史探訪の会」：K47 横山 誠・K48 神戸 孝
滋賀部会長：(前) A46 福永忠昭 (新) C60 村尾俊道

日 時：令和4年11月12日(土) 10:00～16:30 参加者数：25名

訪問地：滋賀大津市 ①石山寺 ②西教寺 ③日吉大社

報 告：

今回は滋賀部会との共同開催です。当日は快晴となり、紅葉が最も美しく映えるなかでの散策会となりました。各地のガイドは前大阪支部長の岡崎格郎氏に担当いただき、各歴史建築物の詳細説明により充実した歴史探訪となりました。

① 石山寺

- ・聖武天皇の勅願により天平勝宝元年に良辨僧正により開基された由緒あるお寺であり、当時は造東大寺司の現地事務所も置かれて、琵琶湖沿岸から切り出された木材を東大寺へ送る機能を担っていたとされる。
- ・本堂真下には天智天皇の石切り場跡があり、ここで切り出された石が大阪湾、大和川を經由して奈良の川原寺中金堂の礎石に使用されたことも最近分かり、この石山から石山寺となった事に納得しきりでした。
- ・本堂には「源氏の間」があり、かつて紫式部がここで「源氏物語」の構想を練ったと伝えられていて、再来年の紫式部を主人公とする大河ドラマでは、ここが主要な舞台となる期待が持たれた。
- ・光堂は岡崎氏が設計施工の東レ建設の一員として手塩にかけて建設した建物で、色々な思いが詰まった建物である事が理解できた。平成20年に建立された見事な建物である。

② 西教寺

- ・天台真盛宗の総本山であり、「不断念仏相續 19 万日大法会」が丁度完了したところであった。
- ・織田信長の比叡山焼き討ち時に焼けたが、明智光秀の支援で復興したと推定される。境内には光秀の供養塔、妻熙子(ひろこ、細川ガラシャの母) 他一族の墓がある
- ・西教寺は比叡山坂本にあり、坂本は中世に穴太衆の里として石垣造りの職人集団が住む街であり、西教寺の石垣にもその優れた技能がいたる所で確認された。

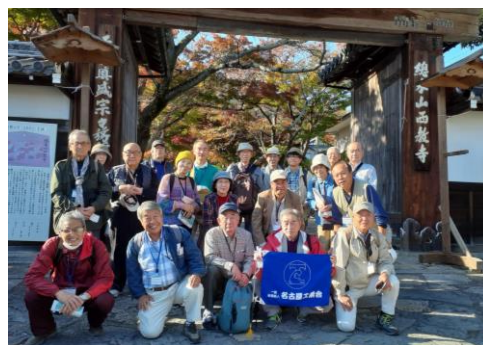
③ 日吉大社

- ・日吉大社では猿が「魔が去る」「勝る」から縁起のよいとされて、境内で飼われているのみならず、訪問当日には、たまたま猿回しの見世物もあり、猿の演技にみな見とれ、大変好評でした。

(記：K47 横山 誠・K48 神戸 孝)



石山寺国宝多宝塔にて



西教寺総門にて



日吉大社にて